

桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2026

No.192

令和8年5月19日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 TEL65-2271・FAX65-4555

メール keisen-fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>



会長あいさつ

社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会 会長 田中 光朗



季節は移り、春の日差しも和やかに色鮮やかな花が咲き誇る中、4月に入学してきた新一年生たちは、元氣よく挨拶をして登校しています。町民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より社協事業推進に対し、温かいご理解とご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度を振り返れば、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化や、アメリカ・イスラエルによるイランへの軍事攻撃等々、世界各地で戦争・紛争が続いています。その影響を受け、石油価格の高騰など私たちの生活にも多大な影響を及ぼしています。一方、毎年のごとく水害・猛暑と異常気象が続きました。災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された全ての皆様方に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を願うと共に、町民の皆様には引き続きのご支援をお願いいたします。

さて、ご承知の通り社協の事業は、乳幼児から高齢者まで福祉の分野で、多岐にわたっています。この事業の活動資金は、町民の皆様からの賛助会費や赤い羽根共同募金・寄付金等、多くの方々のご善意によつて支えられています。厚く御礼申し上げます。

近年、急速に進む「超少子高齢・人口減少社会」、さらにコロナ禍以降、地域の「つながり」「きつな」が衰退し、福祉力が弱くなっていると言われております。私共社協は、支えあいの心を持つ「地域共生社会」の実現を目指し、支え手・受け手・世代間や分野の関係を超越して地域福祉の充実に取り組み、多様化する町民の方々からのニーズに対応するべく、社協役員「同一丸」となり、「誰もが安心して暮らしていける地域づくり」を目指し、推進してまいります。

職員体制について報告いたします。令和8年3月31日をもって三宅事務局長が勇退されました。また、昨年12月より病氣療養中でありました河合真心さんが令和8年2月28日付けで依願退職されました。それにより、令和8年4月1日より職員の河原氏が事務局長に昇格、職員採用試験において合格されました真鍋玲さんと豊原奈津希さんが新たに入職され、新体制でスタートしました。前任同様、力強いご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。改めて、社協発展にご尽力いただきました三宅前事務局長及び河合前職員に「ありがとうございます」とお疲れ様でした。」の言葉を添えて謝意を表します。

結びに、世界情勢は不安定な状況ではありますが、新たな福祉社会を作り上げる為にも、町民の皆様をはじめ、行政・関係機関・福祉団体及び福祉施設各位の、なお一層のご理解とご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

手づくりのぬくもりを、ありがとう 「布っ子」の歩みと感謝



桂川町で長年にわたり活動を続けてこられた桂川図書ボランティアグループ「布っ子」が、このたび活動を終えられることとなりました。

「布っ子」の皆さんは、平成10年に図書館新館の開館をきっかけに発足し、布の絵本や手づくりおもちゃの制作を通して、地域の子ども達から高齢者まで多くの住民と関わってこられました。やさしい手触りの布の絵本には、作り手の思いが一針一針に込められており、手に取る人の心をあたたく包み込んできました。

また、「針体験」や干支ストラップは毎年その完成を楽しみにされる方も多く、地域の中に確かなつながりと笑顔を生み出されてきました。

平成31年には、布の絵本作品「さるとかに」が全国で最優秀賞に輝くなど、その活動は町内にとどまらず高く評価されています。「布っ子」の皆さんの丁寧なものづくりと熱意は、地域の誇りでもあります。

このたび、活動に一区切りをつけられるとのことですが、これまでに残してこられた作品や思い出は、これから地域の中で大切に受け継がれていきます。

長年にわたり、地域にぬくもりとつながりを届けてくださった「布っ子」の皆さんに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

サロンのお知らせ

気軽に立ち寄れる「サロン」を開設しています。ふらっと立ち寄っても良いし、麻雀をしても良いし、自分がやりたいことを創っても良いのサロンです！一度、覗いてみてください(^^)/

月	日 程 (曜 日)
6	1日(月)、5日(金)、9日(火)、11日(木)、15日(月)、19日(金)、24日(水)、29日(月)
7	2日(木)【包丁研ぎ】、6日(月)、9日(木)、13日(月)、17日(金)、22日(水)、24日(金)、29日(水)
8	3日(月)、6日(木)、10日(月)、13日(木)、18日(火)、21日(金)、26日(水)、31日(月)
9	3日(木)【包丁研ぎ】、7日(月)、10日(木)、14日(月)、18日(金)、24日(木)、29日(火)

※包丁研ぎは、予約制です。お一人様一本まで、錆や欠けている包丁は不可です。

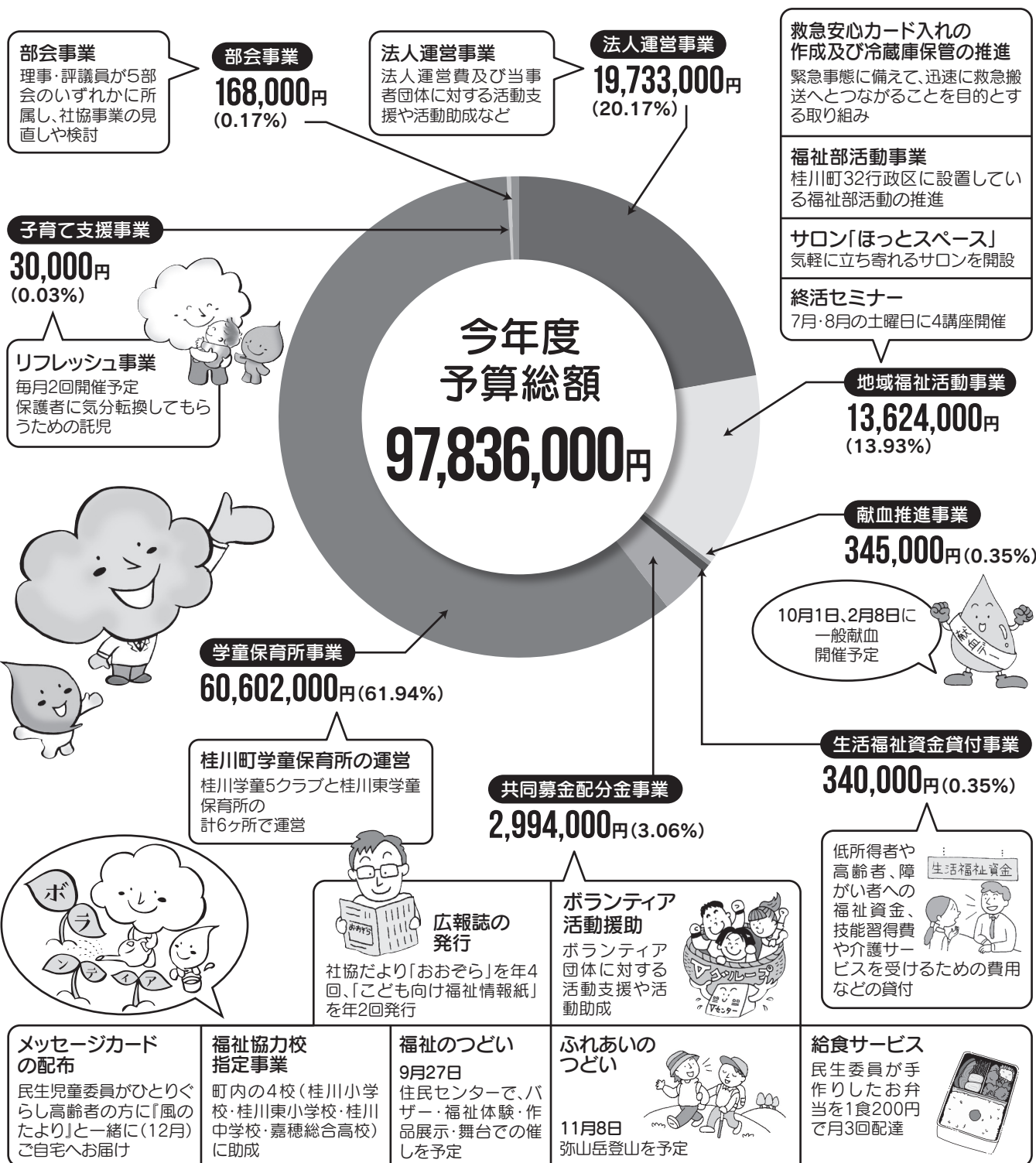
令和8年度 事業計画と予算

基本方針

当協議会は、社会福祉法に基づき、社会福祉を目的とする事業の企画運営を役職員が一丸となって地域福祉活動を推進します。

日頃から生活の困りごとを抱えた方の声に耳を傾け、気持ちに寄り添います。住民の一人ひとりが地域の一員として、安心して暮らせるよう支援するとともに、社協のもつネットワークで生活課題を捉え、個別の支援につなげます。

生活課題が複雑・多様化する環境下においても、持続的な成長、発展を遂げるために、新たな課題解決手段を模索し、行政、各種団体、社会福祉関係者、地域住民と連携しながら、「共に生きる地域社会の実現」を目指します。



福祉部委嘱状交付式 & 地域福祉講演会

桂川町には現在33行政区があり、それぞれに福祉部が設置されています。福祉部では年間計画に基づき、福祉部長や福祉員が中心となり、サロンの開催や世代間交流、見守りや声かけなどさまざまな活動に取り組んでいます。

期 日 6月27日(土)
場 所 住民センター「大ホール」
時 間 12時45分 受付
13時00分 福祉部委嘱状交付式
13時20分 福祉部活動の実践報告

時 間 13時30分 地域福祉講演会
講 師 飯塚市・嘉麻市・桂川町
障がい者基幹相談支援センター
センター長 藤嶋 勇治 氏



◀前年の講演会の様子

“もしも”のときの安心相談



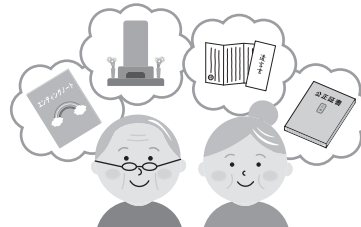
終活相談会

日 程 偶数月の第4木曜日
6月25日、8月27日、10月22日、
12月24日、令和9年2月25日
時 間 10時～12時(要予約)
場 所 いきいきセンター「桂寿苑」
相談員 終活パートナー九州 代表 眞武 純哉氏
内 容 相続・葬儀・お墓・散骨・遺品整理・
財産管理など
費 用 無料
相 談 40分/件



公正証書作成の相談会

日 程 奇数月の第2水曜日
7月8日、9月9日、11月11日、
令和9年1月13日、3月10日
時 間 13時30分～16時(要予約)
場 所 いきいきセンター「桂寿苑」
相談員 飯塚公証役場 吉田 光宏 公証人
内 容 協議離婚に伴う財産分与・養育費や
慰謝料の取り決め、遺言、相続、尊厳死
などに伴う公正証書作成
費 用 無料(公正証書作成手数料等は実費)



終活セミナーのお知らせ

「終活」と聞くと少し身構えてしまう方もいるかもしれませんが、このセミナーでは、未来を前向きに考える楽しい機会を提供します。

桂川版エンディングノートを使いながら、大切な家族と一緒に想いを語り合い、理想の未来像を描いてみませんか？

人生の新たな一歩を踏み出すきっかけとして、ぜひご参加ください。

日 程	時 間	内 容
7月11日(土)	10時～12時	生きている間の安心サポート体制について
7月18日(土)		誰に託す？亡くなった後を考える
7月25日(土)		生前整理と遺品整理について
8月 1日(土)		エンディングノートを活用しよう

講演内容については、変更になる場合があります。6月頃に改めてチラシでお知らせいたします。



リフレッシュ事業 (託児)のお知らせ



お子さまをお預かりしている間に日頃できない
買い物・ランチに時間をゆっくり使いませんか？
日頃、頑張っている貴方だけの時間を
楽しみましょう。

- 時 間 10時30分～13時30分
- 場 所 いきいきセンター「桂寿苑」
- 定 員 10名(生後3か月からお預かりします)
- 託児料 1回100円／人(おやつ代含む)
- 対 象 桂川町在住の方
- 締 切 実施日の1週間前(空きがあれば当日受付可)
- 持参物 お弁当・飲み物・着替え・ビニール袋・
その他必要な物
- 託 児 子育て支援wa-wa

6月	3日・17日	11月	4日・18日
7月	1日・15日	12月	2日・16日
8月	5日・19日	1月	20日
9月	2日・16日	2月	3日・17日
10月	7日・21日	3月	3日・17日

リフレッシュ事業(託児)は、 親子ともにためになる事業



約1年ほど、リフレッシュ事業を利用させていただきました。
わが家の場合、10時30分から13時30分までの間は、リフ
レッシュというより家事をしたり、仕事の準備をしたりと忙し
くしていました。

リフレッシュ時間の使い方はご家庭それぞれで、私は家事
や仕事を終わらせることに集中できました。日々ずっと一緒
にいる子どもと少しの間だけ離れて、何かに没頭できる時間
は、とてもリフレッシュになりました。

4月からはリフレッシュ事業を卒業して、保育所に行ってい
ます。第一子は、慣らし保育のときに泣いて大変だったので
すが、リフレッシュ事業に行っていた第二子は、最初は泣いた
ものの、すぐに慣れていました。家族以外の誰かと数時間を
過ごした経験が保育所初日から活かされました。

ママのリフレッシュもそうですが、子どものためにもなる
リフレッシュ事業は子育てママにおススメです！

リフレッシュ事業利用者

すこやか体操会 (ラジオ体操) はじめてみませんか!?

「すこやか体操会」は、ただ体操をするだけでなく、
一つひとつの動作を丁寧に解説してもらえま
す。指導するのは、ラジオ体操連盟の1級指導者の
の方々。ラジオ体操は軽い運動と思われがちですが、
正しく行くと意外にハードです。

誰もが知っている体操だからこそ、無意識に動
かしていることも多いはず。令和8年度は毎月第
二金曜日開催予定です。みんなで楽しく体を動か
しませんか？ぜひ一度、ご参加ください！



ベルマーク 活動に取り組みましょう!

令和7年4月から始まった大人のベルマーク活
動。毎回10数名の方が集まり、作業に取り組んで
います。サロン「ほっとスペース」と同時開催の時
もあり、男性の方々もハサミを手に協力してくれ
ています。3月30日、1年間の集大成として、桂川小
学校に34,768点を寄贈しました。子ども達をサ
ポートすることで、元気づけられています。社協で
は、ベルマークのほか、仕分け作業にご協力いた



ける方も募集し
ております。ご興
味のある方は、
ぜひお気軽にお
問い合わせくだ
さい。



活動日は、広報けいせんでお知らせします。

このコーナーでは、町内の施設や、ボランティア団体などを紹介していきます

ユニット型特別養護老人ホーム
薫風の苑
嘉穂郡桂川町大字吉隈13-96
TEL.0948-65-4141

養護(盲人)老人ホーム
白藤の苑
嘉穂郡桂川町大字吉隈13-96
TEL.0948-65-4141

特別養護老人ホーム
第2白藤の苑
嘉穂郡桂川町大字吉隈13-96
TEL.0948-65-4141



白藤の洋服屋さん
「いらっしやいませ。どうぞ、手に取ってご覧くださいますか。」
施設内の地域交流センターから店員さんのやさしい声が聞こえてくる。そう、今日は、洋服屋さんの出張販売日。季節に合わせた色とりどりの服がハンガーに掛けられ、小物類は手に取りやすいように、きれいに並べられている。

皆さん自分の欲しい物を手に取り、生地感覚を確かめ、同行のスタッフにデザイン・色柄を聞きながら「これどう？」と身体に合わせる姿や真剣な表情で自分好みの服を探される姿がこちらこちらで見られます。この日を楽しみにされていただけに、イキキとした表情で買い物をされている姿が印象的でした。



後日、「先日購入された服ですね。よく、お似合いですよ」と声をかけると、ちよつと恥ずかしそうな笑顔で「ありがとうございます。又、買い物したいね」と…
皆さんの希望を伺いながら、楽しんでいただける催し事を今後も取り組んでいきたいと思っております。

主任生活相談員
遠藤ひろみ

活動内容紹介

私たちは視覚に障がいのある方々に桂川町の情報をお届けするため、文章を「手」で読みとる「点字」に訳す「点訳作業」を行っている団体です。
広報けいせん(毎月)や社会福祉協議会だよりやおおぞら議会議だより(各年4回)をそれぞれ5部作成し、視覚障がい者が入所しておられる「白藤の苑」へ4部、図書館へ1部お届けしています。
発足当初は点字版を



使って手で直接紙に点字を打っていましたが、今は点訳ソフトを使い、パソコンで文章を入力し、点字に変換し、印刷機で点字印刷しています。
昨年1月、長年使ってきた印刷機が動かなくなりましたが、社会福祉協議会のお力添えで新しい印刷機が届き、活動を継続できています。
また、桂川中学校での点訳講習会等も行い点訳を知って頂く活動もしています。
今、5人で活動しています。興味のある方はぜひお声かけください。

三宅 桂子

ボランティア団体
カトリア会
問合せ: 桂川町社会福祉協議会
TEL:0948-65-2271



お知らせ

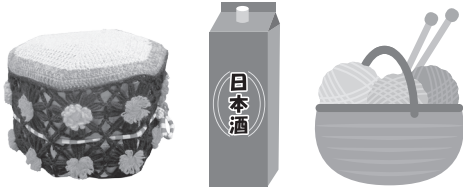
集めています!

ご自宅に以下の物はありませんか? お酒のバックは捨てずに社協へ! 眠っている毛糸も社協へ! 集めた物についてはリユース、アップサイクルにより生まれ変わります!

収集している物

- お酒バック(1.8ℓや2.0ℓ)
- 毛糸
- ベルマーク

お酒のバックは集会所などで腰を掛ける椅子に生まれ変わり、毛糸はサロンなどでリユースしてもらいます。ベルマークは収集し、小学校へ寄贈しています。



福祉サービス苦情解決制度のご案内

児童、障がい者、高齢者などに対して、在宅や福祉施設で提供される福祉サービスの苦情についての相談をお受けします。

福岡県運営適正化委員会 受付からの流れ

- (1)相談 苦情の内容について、電話・手紙・面接でお話を伺います。
- (2)事情調査 相談者、事業者の同意を得たうえで事業者へ苦情内容を通知し、事実確認のための調査を行います。
- (3)解決方法の決定 福岡県運営適正化委員会で解決方法を検討します。
 - ①相談者に対する助言や事業者に対して申し入れを行います。
 - ②申出人と事業者の話し合いに立ち合い、解決方法を提案することもできます。
 - ③虐待や法令違反などは、すみやかに福岡県知事等に連絡します。

相談内容例

- 職員の言葉づかいや態度が悪く、傷ついた。
- 約束していたことを守ってくれない。
- 事故、ケガについての説明や対応に納得できない。など...

ありがとうございます
ありがとうございました

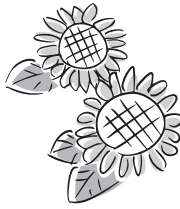
令和8年2月1日〜令和8年4月30日

香典返し寄付金

- 土屋一 鎌田 俊二様(故母) 壽子様
- 吉隈三 曾我部 治様(故父小太郎様)
- 豆田 原田 朱次様(故母) 靖子様
- 福田 文博様 (故義母) 粉井菊子様
- 内山田 三宅 一秀様(故妻) 香月様
- 土師二 穂坂 賢一様(故母) 悦子様
- 土師七 松本 恵子様(故夫) 信行様

一般寄付金

- 笹尾二 久木田祐次様(故父) 久夫様
 - 吉隈二 原中 京子様
 - 赤胸鈴之助
 - ひみつのアッコちゃん
 - すみれ句会様
- 寄付金合計 3003,096円



学童保育所 「夏休み」のみ利用児童募集

学童保育所は、保護者が就業や疾病などのために、保育を必要とする家庭の児童に対し、安全の確保や健全育成を図るための施設です。

夏休み期間中だけの利用を希望する方は、下記のとおり申込をお願いします。

- 対象 町内小学校に在籍する小学1年生から6年生
- 募集定員 桂川学童保育所 若干名
桂川東学童保育所 若干名
- 保育日時 7月21日(火)〜8月31日(月)(日曜日・祝日は除く)
8時〜18時30分
- 利用料 子ども一人6,000円(2人目以降3,750円)
傷害保険料一部負担 620円
※保護者会費やおやつ代などが別途必要
- 申込期間 6月1日(月)〜12日(金)
- 申込用紙 各学童保育所、社会福祉協議会、住民課、子育て支援課で配布
- 申込先 ○各学童保育所
○桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内)

※申込期間前に定員を超えている時は、受け入れができない場合があります。



Instagram

桂川町社会福祉協議会のInstagramを始めました。社会福祉協議会内で活動している「手作りの会」の作品など、日々の福祉活動を発信しています。



LINE

桂川町社会福祉協議会の公式LINEでは行事や事業に関するお知らせ等を発信しています。また、活動風景なども載せているのでぜひ追加をお願いします。



問合せ・申込先 桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

「このお話を聞きました」



いとう てつお
伊藤 鐵雄さん

プロフィール

◎年齢 89歳
◎趣味 散歩、同年代との会話

聞き手

野上 マチ子
倉掛 サツ子

桂川町で生まれ育ち、20歳で就職してからは北九州で勤務されました。結婚後、桂川町に家を建てられましたが、当時は週末に帰ってくる程度で、地域のご家族に任せきりだったといえます。75歳で仕事の引退をきっかけに地域での活動を始め、区長としても長く地域に関わってこられました。これまでどのような思いで地域活動に取り組んできたのか、お話を伺いました。

Q1 地域活動に関わり始めたきっかけは？

75歳で仕事を引退して桂川にいる時間が増えたころ、当時の区長から声をかけてもらい、副区長を務めることになりました。その頃は隣近所の方もあまり知らないような状態でしたが、「これまで何もしてこなかったから、何かやってみよう」と思い、地域活動に関わるようになりました。その後、区長も10年務め、地域の多くの方と知り合えました。

Q2 これまでどのような活動をされてきましたか？

区長になって3年ほど経ったころから、子どもたちへの朝のあいさつ運動を始め

Q3 活動を続ける中で、嬉しかったことや印象に残っていることは？

子どもたちとあいさつを交わす中で元気をもらえたことです。また地域に関わり始めた後の出会いが、とても印象に残っています。その出会いがあれば、今までの活動は続いていたかと思えます。さまざまな活動の中で感謝の言葉をもらい、大きなやりがいを感じました。家にじっとしているだけでは経験できないことをたくさんさせてもらいました。子どもたちとも仲良くなり、毎日がとても楽しかったですね。

人と対話し、人に親切にする

編集後記

令和8年4月になり桜も満開を迎えました。新年度を迎え入学、入社など新しい一歩を踏み出された方も多いのではないのでしょうか。

今の時期を「木の芽時」といいますが、実は5月過ぎると体調を崩される方がとても多く「気象病」とも言います。気温や気圧の変化に体調を崩される方が多く、環境の変化に対するストレスも加わり心身の不調を起こす方が多いようです。

そんな時は、質の高い睡眠や適度な運動、美味しいものを食べるなど、リラックスして過ごすことが大切です。本格的な暑さを前に体調を整え元気にお過ごしください。

広報部員 荒井 リカ



絵:RYUTA(りゅた)さん

職員紹介



豊原 奈津希(写真左):このたび新卒で桂川町社会福祉協議会の地域福祉担当職員として配属になりました。朝倉市出身です。趣味はテニスと旅行で、テニスは9年間続けてきました。体力と粘り強さには自信があります。地域の皆さまとの関わりを大切にしながら、一生懸命取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

真鍋 玲(写真右):このたび4月より入職いたしました。趣味は週末に子どもとお菓子作りで、子育て奮闘中です。甘い焼き菓子が大好きです。まだ不慣れな点も多いですが、誠実さと丁寧さを念頭に、地域の皆さまに安心して相談して頂ける職員を目指して努力してまいります。皆様との出会いを大切に、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。